

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さわやか愛の家むなかた弐番館（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 17 日 ～ 2025年 1月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2024年 1月 20 日 ～ 2024年 2月 7日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 14 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内がバリアフリーになっており、重症心身障害児対応型で医療度の高い方も利用されている。また、様々な障害種別に対して個別支援計画に沿った支援を保育士・理学療法士・看護師が行っている。	医療度の高い児童も安心して過ごす事ができるように看護師がきめ細やかな適切な処置を行っている。さらに、個別支援計画の見直し時期には全職員でモニタリングを行っている。	理学療法士が個々の療育・リハビリテーションを行うことで、機能の維持向上を目指し、さらに細やかなニーズに合わせて支援に取り組んでいけるよう努める。
2	季節毎の行事を立案し実施している。また、大きなイベント時には、生活介護と季節の行事などを合同で行うことで、生活介護の利用者様や職員との交流を図る機会がある。	大きな季節のイベントでは生活介護の方たちと交流が持てる様に行事を開催している。	生活介護の方だけではなく、地域の近隣住民の皆さまなど、誰もが参加していただけるイベントを企画していく。
3	児童の様子を送迎時やLINEを通して情報共有し合い、成長を共に喜び、困りごとに対しては共に解決できるように共通理解を深めている。また関係機関とも情報共有をしている。	統一した支援ができるように学校や相談員、他事業所とも積極的に情報交換を行っている。また職員で情報を詳細に共有し、児童が混乱することなく、安心して事業所で過ごせる支援に努めている。	子どもの様子を情報共有できるように定期的に会議を開催することで、引き続き安心して利用して頂けるようにする。また子どもを中心に巻き関関係機関と連携して、情報を交換・共有し、成長をサポートできるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催や保護者同士の交流する機会が少ない。	去年は写真撮影イベント時に交流できる機会もあったが、日程の調整が難しく、イベント等の回数が少ない。	ご家族様が参加できるイベントを企画していく。 他事業所との合同イベント等にも、ご家族様をお誘いする機会を増やしていく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと交流する機会が少ない。	地域の公園や長期休み等を利用して図書館、商業施設に外出しているが、外出先での活動が目的となっているため、交流する機会が少ない。	地域で開催されるイベントに積極的に参加することで交流する機会を増やしていく。 また、事業所でも参加児童が皆楽しめるようなイベントを企画していく。
3	事業所で非常災害訓練や避難訓練等を行っているが情報が周知されていないことがある。	訓練等を行ったことをブログ等にアップしているが投稿したことをご家族様にお知らせできていなかった。	必要な訓練等を行った場合はブログだけでなく、ご家族様全員に周知頂けるようお知らせをしていく。 インスタグラム等も始めているので、普及率の高いSNSを積極的にアピールし、活用していく。